

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

①施策名〔施策小〕	3 保育教育環境の整備	②施策番号	7101
③まちづくりの方向〔政策(章)〕	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち		
④基本施策〔施策大(節)〕	3 子どもが豊かな人間関係と学ぶ喜びを育むまちをめざします		
⑤基本的方向〔施策中〕	1 幼児教育の充実		
⑥担当部名	⑦担当課名		
教育部	教育総務課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

①施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	・園児 ・幼稚園施設
②意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	・幼稚園施設を適正に維持管理するとともに、幼稚園施設の機能確保、保持のために必要な保全を実施することによって、良好な保育教育環境を整備する。
③環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	子どもの持てる力を引き出す遊びの環境や基本的な生活力を育む環境など、幼児期にふさわしい多様な教育環境が求められている。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標(成果指標)		単位	指標とした理由・考え方
①	保全整備執行率	%	日常の維持管理と関連する施設修繕の実施状況を見ることにより、幼稚園施設の適正な保全に向けた取組状況が判断できるため
	計算式		
②	幼稚園に行くことが楽しいと感じている園児の割合	%	アンケート結果として、園児が幼稚園生活にストレスを感じずに登園していることが、良好な保育教育環境の提供状況と判断できるため
	計算式		
③			
	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	保全整備執行率	%	目標値	100	100	100	100	100	(修繕費決算額/予算額)*100
			実績値	93.83	97.26	97.49	—	—	
			達成率	93.8%	97.3%	97.5%			
②	幼稚園に行くことが楽しいと感じている園児の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	(回答者数/アンケート提出者数)*100
			実績値	98.8	96.9	97.6	—	—	
			達成率	98.8%	96.9%	97.6%			
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	幼稚園管理事業	幼稚園に行くことが楽しいと感じている園児の割合	%	96.9	97.6	—	21,060	19,566	21,123	A	ア	◎
2	幼稚園施設保全整備事業	保全整備執行率	%	97.26	97.49	96.00	3,582	4,923	4,885	A	ア	○
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	2						24,642	24,489	26,008			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	恒常的に良好な保育教育環境を提供することは、園児の精神上のストレスを軽減させることにつながり、幼児教育の充実に寄与する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	快適な保育教育環境への取組状況と、それに対して園児がどのように感じているか。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	幼稚園施設の整備、維持管理を行う一方で、保護者へ就学前の子育て施策の一環としてワークショップやミーティングなど積極的な参加を求めている。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	幼児教育を充実させるために実施する維持管理事業と保全整備事業であるため、構成する事務事業は適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	現行の2園は、平成22年度に1園を新築、1園を大規模改修したものであるため、当分の間は抜本的な老朽化対策の必要は少ない。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	幼稚園施設は、新築と大規模改修を実施しているため、老朽化対策の緊急性は低い。 ただし、幼児が毎日生活する施設であるため、丁寧な維持管理が求められている。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	定住促進につながる、魅力ある幼稚園施設の検討を行う。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	国が推進する幼児保育施策を踏まえて、施設整備を検討する。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	進行する少子化を見据えて、幼稚園を含めた小中一貫教育の在り方を検討する。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	保育教育環境の維持向上に向けた取組が適切に実施されている。 幼稚園施設の保全については、保育教育環境の適切な維持に向け、計画的に取組を進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある